



学校だより5月号

【学校教育目標】「力を合わせ 笑顔が光る日限の子」

令和2年 5月 11日

横浜市立日限山小学校

〒233-0015

港南区日限山二丁目 16 番 1

TEL 045(841)6561



風薫る五月～鯉のぼりに願いをこめて～

校長 岡崎 陽子

昨年の5月は、「令和」という新しい元号が使われ始めた月でした。新たな時代の幕開けに期待し、明るい雰囲気になった季節でした。

ところが、今年の5月は、大型連休を「ステイホーム週間」と言ったり、「外出自粛」「人の接触の8割削減」等の言葉が連日、キーワードとして報道されたりして、重たい空気を感じる季節となっています。誰も予想しなかったこの事態に戸惑い、対応に苦慮する日々です。

しかし、一方で、このようなときだからこそ「離れてつながろう」「明けない夜はない」「ピンチはチャンス」という前向きなメッセージを発信して、乗り越えていこうとする動きも沸き起こっています。きっと、皆様もそれぞれのご家庭や地域で様々に工夫されて、過ごされていることと存じます。

我が家では、5月5日に合わせて菖蒲湯に浸かり、柏餅を食べ、鯉のぼりを飾りました。ささやかですが、季節の行事をいつも通り行うことで、季節感を味わい、1年間、家族そろって健康に過ごしたいという思いを新たにしました。

鯉のぼりを飾るにあたって、家族の中で、いつもと違う様子がありました。中学3年生になる息子がこう言ったのです。

「鯉のぼりを飾るのは恥ずかしい！もう、中学生なんだし…。」

息子が生まれてから、毎年、鯉のぼりを飾ってきたのですが、息子の率直な思いを聞いて迷ってしまいました。飾るためには手間もかかるし、そろそろやめ時なのかしれないとも思いました。でも、鯉のぼりを飾るのは、息子のためだけではなく、私にとっても大事なことであると思直し、今年も飾ることにしました。

風薫る五月に、風に向かって泳ぐ鯉のぼりの姿は、私にとっては、いつ見てもすがすがしい気分になります。加えて今年は特に、その姿を見ながら、全ての子どもたちが元気で逞しく育ってほしいと願わずにはいられませんでした。

先日、政府は緊急事態宣言を5月31日（日）まで延長する方針を決定しました。横浜市においても新型コロナウイルス感染症が終息する見通しは立っておらず、児童の安全を第一に考え、一斉臨時休業の延長が決まりました。教職員も“3密”にならないような出勤体制で対応しています。

本校としては、横浜市教育委員会の方針を受けて、児童の学習の保障、居場所の確保及び健康保持等のため、「緊急受入れ」「校庭開放」「新たな学習課題の配付」「児童の心身の状況把握」等、学校としてできることに取り組んでまいります。具体的な内容や方法については、随時、メール配信や学校ホームページ等でお知らせいたします。

保護者・地域の皆様には、これまでのご協力に感謝するとともに、引き続き、ご理解、ご支援いただきますよう、お願い申し上げます。